

## 「感動の旅触れ合い—日本訪問感想」

承德民族師專付属中学初中一年 李英昊

小さい頃よく夢を見ました：ある日あの国を高い所から見下ろす、ある日あの国を訪ねて見る、ある日あの国の事を理解する、あの国それが日本でした。

2010年7月24日 土曜日

最後にさようならを云った時、私は大きな衝撃を心に受けました。両親の羽の下からまだ離れていない子供が見知らぬ国で六日間も暮らすのです。車の中で見知らぬ顔を見ながら私は沈黙し、本の中に埋没し、皆がと知り合うために談笑していても話に入っていこうともしませんでした。ないで、ひよっとしたら見えない運命の糸がそうさせているのでしょうか。多分暗く運命付けられているからでしょう。私はずっと孤独だというわけではありませんでした。全くの孤独でもなかった、昼食の時日本旅行での第一の友人一孫冉一に出会いました。彼女は気心の知れた姉のように私の面倒を見てくれ、飛行機の3時間さらに柏市役所への1時間、ずっと一緒にいて私と談笑してくれました。私のホームステイの皆さんとお会いした時、実のところ初めて会った時、大変緊張してしまって、変な日本語で自己紹介しました。その後、その先これまでのの一切の悩みや心配が無くなって行きました。と云うのは彼らの真心、善良さが私の琴線に触れ、すぐにお互いによく知るようになって行きました。この愛すべき家庭内に溶け込み、ああ、今日から私の日本旅行が始まる、私の楽しみが始まるのですみたいです。

2010年7月25日～26日 日曜日、月曜日

なんと幸せなのでしょう！Happy 二日間陽に素肌を日に晒し過ぎた皮膚は、私がこのようによろこんでいることにやや抵抗を感じているかもしれませんが、本当に楽しい両日でした。ましたが大変楽しかった。多くの柏市の名所を訪ね、柏市立高校の演奏を見聞きし、水上バスやモノレールに乗り、普通の商店から大型まである広場などどれにもびっくりさせられました。勿論どこに行っても清潔さが保たれていました、ある叔母さんに聞いたところでは、日本人は外出時はゴミ袋を持って行き、自分が出したゴミはもしゴミ箱が見つからねば、自分が作ったものは自分で処理するたとえの通り、自分で拾い必ず自分のものは自分で処理し、家に持ち帰るか、ゴミを棄てられるところを探し処理するとのことでした。だそうです。これには私には不思議に思えて信じることさえできませんでした。怪しく思えて、あまり信用できませんでした。ところが秋葉原の大型販売店に行った時、これが全く本当な事をこの目で知ったのです。こんな繁華街でもなんと清潔なのです。私たちの国ではこのようにできるのでしょうか？

2010年7月27日 火曜日

ああ、今日は大きく見聞を広げました。なんと柏市長にお目にかかることが出来ました、更に幸せなことに柏市の学校地区を見学できました、ああ、なんと云う壮観さ、夢の中で見た大学のように素晴らしく、一つ一つの実験室を見、その中の大小の施設、本当に興奮です。しかし時間は過ぎ去ります、心行くまで見たいのに行く時間です、まさにつらい思いをしている時に、一つのニュースが、泣きっ面に蜂です、危うく卒倒しそうになりました。 今晚出演せよと。ああ、幸いなことに友達と一緒にです、合唱、えい、逃げよう、でも私は今夜のことを誰かのせいにするわけにはいきませんが誰かを怒らせるの？ どうしてこんなについてないの？ なんてと踊らないといけない

の？ わたしがこの方面は苦手なこと知らないのね、神様、どうしようもない、私は音楽に合わせ、て前の人に合わせながら不格好な姿をさらけ出してしまい面目を失いました。の分かりにくい動作に合わせて、恥ずかしかった、しかし日本の伝統文化に根差した踊りに引き寄せられてしまいました。おっとりして、美しく傑作な踊りにです。

2010年7月28日～29日 水曜日、木曜日

昨日のデズニールランド行きはに行った、この数日間の中の全ての束縛をすべてから解き放ってくれました。たれた、高所恐怖症の私に道が開け、ジェットコースターを乗り終えても何ともありませんでしたが、それでもやっぱり高いところはちょっと怖いです。山を越え何事もなかった、しかし高い所はまだ怖い、見たところもっと訓練が必要なのにです。そして今日、お別れしなければなりません。らない。6日間楽しかった6日間、この絵巻物に絵にピリオドを打つのは辛いです、真心のこもったおじいさんおばあさん、叔父さん叔母さん見ていると別れるのが本当につらいです。ピリオドを打ったその時涙があふれてきましたが、別れがたき、6日間の絵に持っていた絵に感嘆符を入れました。た、これからまたとても長い時間、いやと云う程の苦しみのを経験した後、また最後にととう虹を見ることが出来るのだと。その時た、長い間長い間会いたかった待ち望んでいた父母がととう目の前に現れ、激動した気持ちと悲しみが融合し、微笑を作り出すというとなり、私の色鮮やかな一筋の虹を私の空に書き込んでくれたのでした。

天空ために鮮やかに美しく一筆書き添えられたのです。

日本への旅は、馬を飛ばして花見をするという四字熟語(走馬看花)のように急ぎ足で日本を見たしたとしか言いようがありませんが、しかしこの度の日本旅行は、私に大変多くの感動触れ合いを与えてくれました。それは多分日本の清潔さ、華やかさのせいであり、日本人の真心、暖かさのせいでありであり、さらには私が未だ気づいてい見つけていないことがまだまだ山ほどたくさんあることでしょう。

さまざまなものせいだと思います。